

企画競争実施の公示

平成 29 年 2 月 15 日

分任支出負担行為担当官九州地方整備局
筑後川河川事務所長 富岡 誠司

次のとおり、企画提案書の提出を招請します。

1. 業務概要

- (1) 業務名：平成 29 年度筑後川学習支援その他安全利用に関する調査
- (2) 業務内容 本業務は、筑後川に関する流域住民向けの河川環境等に関する学習会等を通し、河川愛護啓発を図り、また小学校等への学習支援を行うことにより河川環境への意識啓発や理解度の向上により安全な河川管理に向けた意識調査を行うものである。
- (3) 履行期間 契約締結の翌日から平成 30 年 2 月 28 日まで

2. 企画競争参加資格要件

- (1) 予算決算及び会計令（昭和 22 年勅令第 165 号）第 70 条及び第 71 条の規定に該当しない者であること。
- (2) 競争参加資格（全省庁統一資格）
 - ① 企画提案書の提出時において、平成 28・29・30 年度国土交通省競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」（のうち「（広告・宣伝）又は（調査・研究）」）において九州・沖縄地域の参加資格を有する者であること。
 - ② 会社更生法（平成 14 年法律第 154 号）に基づき更生手続開始の申し立てがなされていない者又は民事再生法（平成 11 年法律第 225 号）に基づき再生手続開始の申し立てがなされていない者であること。

ただし、手続開始の申し立てがなされている者においては、以下の 1）及び 2）の要件を満たす場合、競争参加資格（全省庁統一資格）を有するものとする。

 - 1) 手続開始の決定を受けていること。
 - 2) 手続開始の決定後、以下のア）～ウ）を競争参加資格申請場所のいずれか 1 箇所に提出していること。
 - ア) 更生手続開始決定書又は再生手続開始決定書（鮮明であれば写しでも可）
 - イ) 許可決定に伴い定款、役員等に変更があった場合には、それを証明する書類（鮮明であれば写しでも可）
 - ウ) 上記イ)に伴う競争参加資格審査申請書変更届（物品製造等）
 - ③ 競争参加資格（全省庁統一資格）の申請の時期及び場所については、「競争参加者の資格に関する公示」（平成 27 年 1 月 24 日付け官報）に記載されている時期及び場所で申請を受け付ける。
- (3) 企画提案書等の提出期限の日から契約締結日までの期間に、九州地方整備局長から指名

停止を受けていないこと。

- (4) 企画提案書を提出しようとする者の間に以下の基準のいずれかに該当する関係がないこと。

① 資本関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし、子会社または子会社の一方が更正会社又は更正手続きが存続中である場合は除く。

- ア) 親会社と子会社の関係にある場合
- イ) 親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合

② 人的関係

以下のいずれかに該当する二者の場合。ただし(イ)については、会社の一方が更正会社又は更正手続きが存続中の会社である場合は除く。

- ア) 一方の会社の役員が、他方の会社の役員を現に兼ねている場合
- イ) 一方の会社の役員が、他方の会社の管財人を現に兼ねている場合

- (5) 平成24年度以降公示日までに完了した業務（再委託による業務の実績は含まない。）において、下記に示す「同種又は類似業務」について1件以上の実績を有すること。

○同種業務：河川環境啓発の一般向け催しの企画運営

○類似業務：河川又はダム又は砂防に係る一般向け催しの企画運営

- (6) 配置予定業務責任者は、平成24年以降公示日までに完了した業務（再委託による業務の実績は含まない。）において、下記に示す「同種又は類似業務」について1件以上の実績を有すること。

○同種業務：河川環境啓発の一般向け催しの企画運営

○類似業務：河川又はダム又は砂防に係る一般向け催しの企画運営

- (7) 福岡県、大分県、佐賀県に本・支店等営業所が所在すること。

- (8) 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者または、準ずるものとして国土交通省発注工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

- (9) 企画競争実施にかかる説明書の交付を直接受けた者であること。

3. 手続等

- (1) 担当部局

〒830-8567 福岡県久留米市高野1-2-1

九州地方整備局 筑後川河川事務所 経理課

電話 0942-33-9132 FAX0942-35-0276

- (2) 説明書の交付期間、場所及び方法

平成29年2月15日から平成29年3月7日までの、土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、9時00分から17時00分まで。場所は(1)に同じ。

説明書の交付を希望する場合は、予め(1)の担当まで事前連絡を行うこと。

- (3) 企画提案書の提出期限、場所及び方法

提出期限：平成29年3月7日 17時00分

提出場所：(1)に同じ。

提出方法：持参又は郵送（書留郵便等の配達記録が残るものに限る）によること。

(4) 企画提案に関するヒアリングの有無、日時及び場所

ヒアリング 無

但し、企画提案書の内容について担当部局より質問する場合がある。

(5) 企画提案書の特定については、学識経験者で構成される第三者委員会が提案書の審議を行い、その結果を聴取したうえで、提案書の特定を行う。

4. その他

(1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 関連情報を入手するための照会窓口 3(1)に同じ。

(3) 企画提案書の作成及び提出に要する費用は、企画提案者側の負担とする。

(4) 企画競争実施委員会に提出された提案書は、当該提案者に無断で2次的な使用は行わない。

(5) 企画提案書に虚偽の記載を行った場合は、当該提案書を無効にするとともに、記載を行った提案者に対して指名停止を行うことがある。

(6) 特定した提案内容については、国等の行政機関の情報公開法に基づき、開示請求があった場合は、当該企業等の権利や競争上の地位等を害するおそれがないものについては、開示対象となる場合がある。

(7) 提案が特定された者は、企画競争の実施の結果、最適な者として特定したものであるが、会計法令に基づく契約手続きの完了までは、国との契約関係を生じるものではない。

(8) 本業務は、当該業務に係る平成29年度予算が成立し、予算事務手続きが整った場合についてのみ、特定通知以降の手続きを行うことを条件とする。

(9) その他の詳細は企画競争実施にかかる説明書による。